

仙台拡幅(籠ノ瀬^{かごのせ}～鹿の又^{かまた})において 現地測量と地質調査に着手します

今年度、新たに事業化された仙台拡幅（籠ノ瀬～鹿の又）について、下記のとおり現地測量及び地質調査に着手しますのでお知らせします。

また、測量や地質調査の作業範囲に係る地域の皆様には別途、町内回覧等で周知する予定です。

■調査時期：令和3年7月26日（月）～11月30日（火）

■調査区間：事業の全区間（仙台市太白区郡山～同市同区東郡山）

○一般国道4号仙台拡幅（籠ノ瀬～鹿の又）は、太白区郡山地内における国道4号の渋滞緩和や交通安全の確保を目的とした仙台市太白区郡山から同市同区東郡山に至る延長1.6kmの連続立体化事業です。

○今回実施する現地測量や地質調査は、今後、設計を進めるために必要な地形や地質状況などの基礎資料を事業の全区間にわたって得るものです。

○測量作業等に際し、作業従事者は東北地方整備局が発行する身分証明書を携帯し、反射材が付いた安全チョッキと腕章を着用しております。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

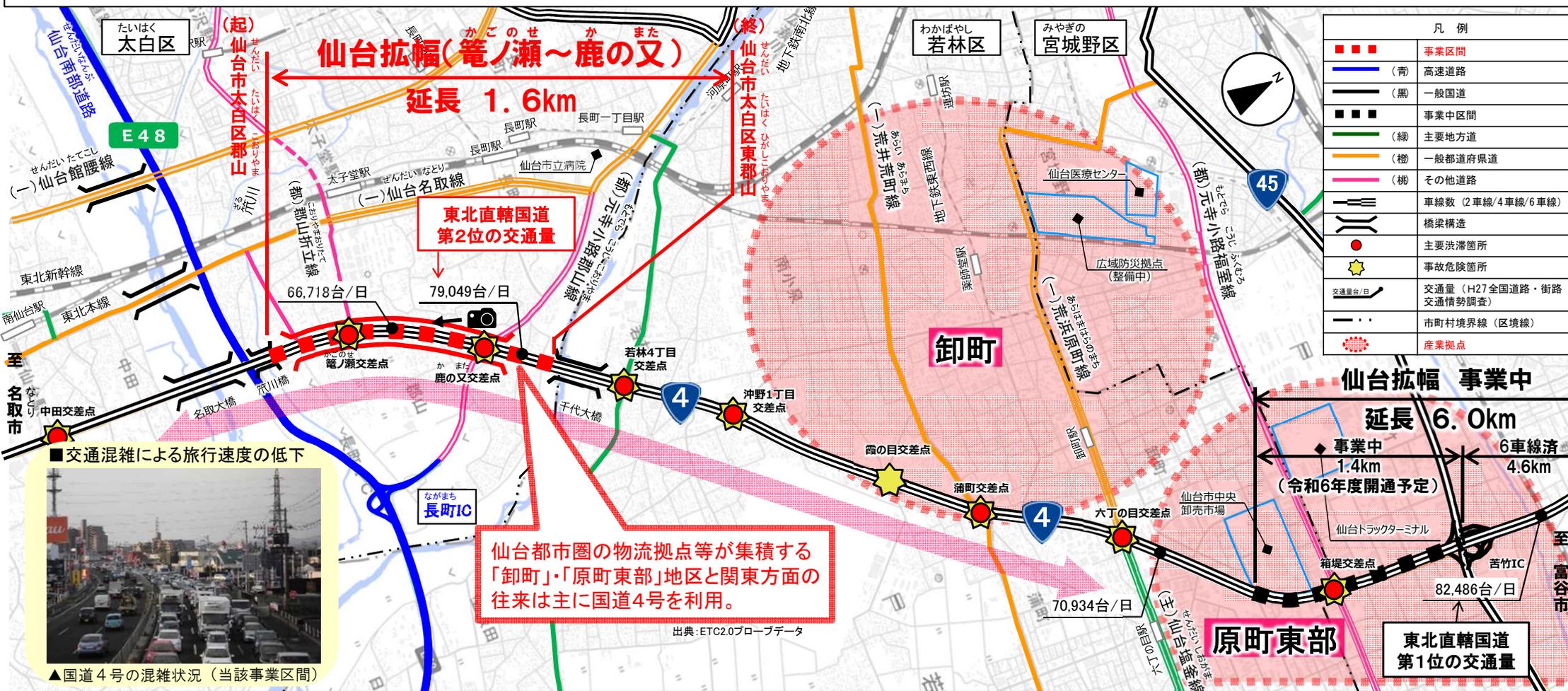
お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
電話：022-248-4131（代表）

副所長	まつばら 松原	よういち 陽一
設計課長	ちだ 千田	てつや 徹也

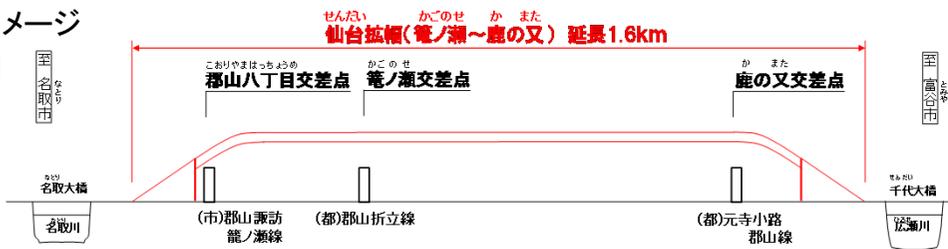
一般国道4号 仙台拡幅(籠ノ瀬～鹿の又)

- 国道4号の当該事業区間では、約7.9万台／日の交通量。混雑時は東北の直轄国道で最も速度低下が著しく、渋滞や速度低下を起因とした交通事故の発生が課題
- 平面交差点を連続立体化し車線数を増やすことで、渋滞解消と安全性の向上を図ります
- 国道4号沿線には多数の物流拠点等が立地しており、速達性の向上を図ることで仙台都市圏の経済・産業活動を支援

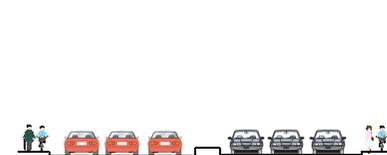


整備イメージ

【縦断面図】



【現況】



【整備後】

